



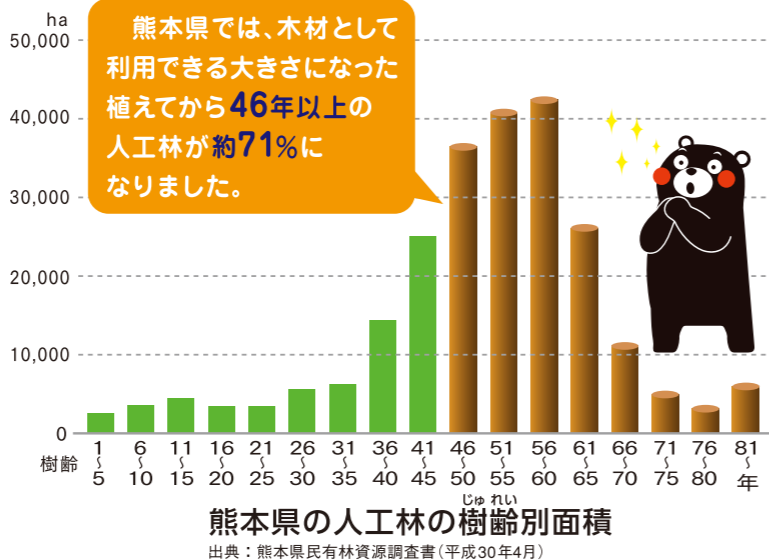
森林には どんな働きがあるの？

森林は2種類
あるんじゃないよ。



人工林と天然林について

森林には、人の手によって植えられた人工林と、自然に芽が出て育った天然林の2種類があります。人工林と天然林には、それぞれにとても大切な役割があります。



人工林



- 【特徴】
- ①人の手によって植えられ育てられた森林で、生活で使う木材を**生産する***1などの役割がある
 - ②熊本県の人工林は、スギやヒノキなどがほとんど
 - ③住宅用の柱として使える大きさに育てるまでには何十年もの間しっかりとした手入れが必要

*1:木材として利用するために、木を育て伐採(収穫)すること。

メモ

天然林



- 【特徴】
- ①自然に芽が出て育った森林
 - ②熊本県の天然林には、シイやカシなどが多い
 - ③天然林の中でも一度も人の手が入っていない森林のことを原生林という

ヒノキの木



ヒノキの実



森林の大切な役割について

森林は、わたしたちの暮らしにとても大切な役割を果たしています。生活に必要な木材を生産するだけでなく、山くずれや洪水を防ぎ、地球温暖化の原因の一つとされる二酸化炭素を取り入れて、酸素を出してくれます。夏にはすずしい木かげも作ってくれます。

また、わたしたちが毎日飲んでいる水(地下水)は、広大な面積の森林に降った雨が地面にしみこみ長い年月をかけてきれいでおいしい水になったものです。森林は、見えないところでわたしたちの暮らしを支えています。



▲地域の人たちがいっしょに下草刈りなどの手入れを行っています。



「天明水の会」の西村さんと濱邊さん

海と山は水でつながっています

「漁民の森」活動

森林がすくすくと育っていくほど、多くの栄養が山から川、そして海に流れていきます。漁師さんを中心に、有明海近くの地域の人たちが海を守るために、山に植林をはじめたのが「漁民の森」の活動です。活動から20年ほどたち、アサリが少しずつ増えるなど成果が出ています。また、活動に参加した人たちとの交流の輪も広がっています。植林した森は、小学生や地域の人たちにより手入れがなされ、守られています。

